



2020年7月31日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 高 山 泰 仁  
(コード番号：6548 東証マザーズ)  
問い合わせ先 執 行 役 員 岩 田 静 絵  
コーポレート本部長  
TEL. 03-5956-3044

(訂正) 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)  
の一部訂正に関するお知らせ

当社は、2019年11月11日に開示いたしました「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(2020年7月31日)付「不正行為による過年度決算訂正および2020年3月期通期決算発表に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には\_\_\_\_を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日  
東

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所  
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03 (5956) 3044  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,401	26.6	406	99.3	404	109.5	249	122.5
2019年3月期第2四半期	14,531	25.2	203	—	192	—	112	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 252百万円 (114.9%) 2019年3月期第2四半期 117百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	53.00	51.38
2019年3月期第2四半期	23.96	23.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,784	1,695	24.8
2019年3月期	6,856	1,373	19.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,683百万円 2019年3月期 1,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.7	351	5.4	342	7.6	216	13.7	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	4,746,700株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期2Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期2Q	4,701,552株	2019年3月期2Q	4,674,675株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の一部に弱さが見られるものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から9月における日本人出国者数が前年同期比8.1%増の1,014万人\*と好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比3.2%増の1,636万人\*と、アジアの一部市場では減少も見られたものの中国市場や欧米豪市場を中心に堅調に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、引続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、サマーセールや秋の連休キャンペーン、航空会社とのタイアッププロモーション等の各種施策により好調な個人旅行需要の取込みに努めました。韓国や台湾、グアムをはじめとした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、早期取込みを見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引続き営業体制の強化に取組み、企業の業務渡航やMICE案件の受注が好調に推移いたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン商品の販売拡大のため、海外航空券のサイトリニューアルを行ったほか、スカイスキヤナーとの接続やエクスペディアパートナーソリューションズの海外ホテル予約サービスとのAPI情報連携を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は18,401,754千円（前年同期比26.6%増）、営業利益は406,383千円（前年同期比99.3%増）、経常利益は404,033千円（前年同期比109.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は249,185千円（前年同期比122.5%増）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2019年10月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,817,217千円と、前連結会計年度末比189,378千円減少しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比552,465千円、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比161,390千円減少した一方で、旅行前払金が前連結会計年度末比409,611千円、その他流動資産が前連結会計年度末比131,214千円増加したことによるものです。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は966,958千円と、前連結会計年度末比117,174千円増加しました。これは主に、無形固定資産が前連結会計年度末比73,485千円、投資その他の資産が前連結会計年度末比51,433千円増加したことによるものです。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,018,808千円と、前連結会計年度末比394,071千円減少しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比552,815千円減少した一方で、買掛金が前連結会計年度末比142,403千円、未払法人税等が前連結会計年度末比46,291千円増加したことによるものです。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は69,488千円と、前連結会計年度末比326千円減少しました。これは主に、その他固定負債が前連結会計年度末比425千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,695,878千円と、前連結会計年度末比322,194千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比249,185千円増加したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、3,082,690千円と前連結会計年度末と比べ555,465千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益404,033千円の計上に加え、売上債権の減少175,418千円、仕入債務の増加144,239千円等の増加要因がある一方、旅行前受金の減少552,768千円、旅行前払金の増加409,652千円、法人税等の支払103,442千円等の減少要因から、388,334千円の支出（前年同期は496,190千円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出102,537千円、敷金の差入による支出57,965千円等により、155,577千円の支出（前年同期は87,786千円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出6,126千円、リース債務の支払による支出4,123千円等により、9,677千円の支出（前年同期は9,465千円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,136,690
受取手形及び売掛金	831,856	670,465
割賦売掛金	82,031	65,829
旅行前払金	1,225,114	1,634,725
その他	179,604	310,818
貸倒引当金	△1,166	△1,312
流動資産合計	<u>6,006,595</u>	<u>5,817,217</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	85,507
車両運搬具(純額)	7,553	7,633
リース資産(純額)	5,041	1,237
その他(純額)	7,651	9,154
有形固定資産合計	111,278	103,533
無形固定資産	243,441	316,927
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,039	59,508
差入保証金	192,990	202,538
その他	245,034	284,450
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	<u>495,064</u>	<u>546,497</u>
固定資産合計	<u>849,783</u>	<u>966,958</u>
資産合計	<u>6,856,379</u>	<u>6,784,175</u>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	774,055	916,458
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	1,380
未払法人税等	106,758	153,049
旅行前受金	4,142,170	3,589,355
賞与引当金	122,273	122,125
その他	255,606	236,438
流動負債合計	5,412,880	5,018,808
固定負債		
資産除去債務	32,352	32,451
その他	37,462	37,037
固定負債合計	69,815	69,488
負債合計	5,482,695	5,088,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	461,948
資本剰余金	336,942	371,948
利益剰余金	586,087	835,273
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,349,888	1,669,087
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△44
為替換算調整勘定	17,299	14,654
その他の包括利益累計額合計	17,472	14,610
非支配株主持分	6,323	12,181
純資産合計	1,373,684	1,695,878
負債純資産合計	6,856,379	6,784,175



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,531,968	18,401,754
売上原価	12,668,499	15,868,977
売上総利益	1,863,468	2,532,776
販売費及び一般管理費	1,659,581	2,126,392
営業利益	203,887	406,383
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	0	0
為替差益	—	377
その他	647	2,038
営業外収益合計	681	2,448
営業外費用		
支払利息	959	34
支払保証料	953	1,536
為替差損	7,289	—
支払手数料	2,262	2,900
その他	294	327
営業外費用合計	11,758	4,798
経常利益	192,809	404,033
特別損失		
不正関連損失	1,931	—
特別損失合計	1,931	—
税金等調整前四半期純利益	190,878	404,033
法人税、住民税及び事業税	78,374	151,341
法人税等調整額	495	△2,494
法人税等合計	78,870	148,847
四半期純利益	112,007	255,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	6,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,007	249,185

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	112,007	255,185
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	690	△217
為替換算調整勘定	4,666	△2,786
その他の包括利益合計	5,356	△3,003
四半期包括利益	117,364	252,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,364	246,323
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,858

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	190,878	404,033
減価償却費	25,777	43,105
不正関連損失	1,931	—
受取利息及び受取配当金	△33	△32
支払利息及び支払保証料	1,913	1,570
為替差損益(△は益)	△963	467
売上債権の増減額(△は増加)	△292,097	175,418
旅行前払金の増減額(△は増加)	△475,977	△409,652
仕入債務の増減額(△は減少)	267,474	144,239
旅行前受金の増減額(△は減少)	861,480	△552,768
貸倒引当金の増減額(△は減少)	432	145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,343	△153
その他	△46,380	△89,325
小計	522,089	△282,952
利息及び配当金の受取額	33	32
利息及び保証料の支払額	△3,976	△1,971
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△21,956	△103,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,190	△388,334
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△58,473	△102,537
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,508	—
敷金の差入による支出	△21,766	△57,965
差入保証金の差入による支出	△5,739	△10,001
その他	△3,315	14,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,786	△155,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△6,126
リース債務の支払による支出	△10,279	△4,123
ストックオプションの行使による収入	702	572
その他	112	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,465	△9,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,059	△1,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	401,997	△555,465
現金及び現金同等物の期首残高	2,117,873	3,638,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,519,870	3,082,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行いました。また、2019年6月28日及び2019年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役、監査役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株発行を行いました。これらの結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,006千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が461,948千円、資本準備金が371,948千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(訂正前)



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

東

上場会社名 株式会社旅工房 上場取引所  
 コード番号 6548 URL <https://www.tabikobo.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高山 泰仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 岩田 静絵 (TEL) 03 (5956) 3044  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,443	26.9	435	131.4	438	131.9	270	130.5
2019年3月期第2四半期	14,535	25.3	188	—	189	—	117	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 273百万円 (122.9%) 2019年3月期第2四半期 122百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	57.51	55.76
2019年3月期第2四半期	25.09	24.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,861	1,750	25.3
2019年3月期	6,903	1,407	20.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,738百万円 2019年3月期 1,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	36.5	351	8.6	342	2.7	216	6.1	46.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	4,746,700株	2019年3月期	4,683,400株
2020年3月期2Q	62株	2019年3月期	62株
2020年3月期2Q	4,701,552株	2019年3月期2Q	4,674,675株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出や生産の一部に弱さが見られるものの、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しを背景に、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。

旅行業界におきましては、2019年4月から9月における日本人出国者数が前年同期比8.1%増の1,014万人\*と好調に推移いたしました。また、訪日外客数は前年同期比3.2%増の1,636万人\*と、アジアの一部市場では減少も見られたものの中国市場や欧米豪市場を中心に堅調に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループでは、引き続きオンライン商品販売とトラベル・コンシェルジュによるオーダーメイド販売を組み合わせた「ハイブリッド戦略」を推進し、サマーセールや秋の連休キャンペーン、航空会社とのタイアッププロモーション等の各種施策により好調な個人旅行需要の取込みに努めました。韓国や台湾、グアムをはじめとした「安近短」方面においては、オンライン予約システムの機能強化及び商品拡充により、前年を大きく上回る水準で推移いたしました。ヨーロッパを中心とした長距離方面につきましても、早期取込みを見据えた商品展開及び組織体制の強化により好調に推移いたしました。法人旅行事業につきましても引き続き営業体制の強化に取り組み、企業の業務渡航やMICE案件の受注が好調に推移いたしました。

システム・マーケティング面では、業務効率化を目的として前期より一部導入しておりました新基幹システムを、レジャー部門全体へ展開いたしました。またオンライン商品の販売拡大のため、海外航空券のサイトリニューアルを行ったほか、スカイスキナーとの接続やエクスペディアパートナーソリューションズの海外ホテル予約サービスとのAPI情報連携を開始しております。旅行需要の喚起及び新規顧客の獲得に向けてオウンドメディアやSNSの運用にも注力し、株式会社ミキ・ツーリストと共同でヨーロッパの現地情報を動画で発信する専門Instagramアカウント「whee TV」を開設いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は18,443,192千円（前年同期比26.9%増）、営業利益は435,591千円（前年同期比131.4%増）、経常利益は438,491千円（前年同期比131.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は270,404千円（前年同期比130.5%増）となりました。

なおセグメントの業績については、当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略いたします。

\* 2019年10月 日本政府観光局(JNTO)「2019年 訪日外客数・出国日本人数」

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,893,783千円と、前連結会計年度末比159,507千円減少しました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比552,465千円、受取手形及び売掛金が前連結会計年度末比127,028千円減少した一方で、旅行前払金が前連結会計年度末比409,611千円、その他流動資産が前連結会計年度末比126,722千円増加したことによるものです。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は967,539千円と、前連結会計年度末比117,174千円増加しました。これは主に、無形固定資産が前連結会計年度末比73,485千円、投資その他の資産が前連結会計年度末比51,433千円増加したことによるものです。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,041,036千円と、前連結会計年度末比385,418千円減少しました。これは主に、旅行前受金が前連結会計年度末比552,119千円減少した一方で、買掛金が前連結会計年度末比136,441千円、未払法人税等が前連結会計年度末比59,531千円増加したことによるものです。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は69,488千円と、前連結会計年度末比326千円減少しました。これは主に、その他固定負債が前連結会計年度末比425千円減少したことによるものです。



## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,750,797千円と、前連結会計年度末比343,412千円増加しました。これは主に、利益剰余金が前連結会計年度末比270,404千円増加したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、3,082,690千円と前連結会計年度末と比べ555,465千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益438,491千円の計上に加え、売上債権の減少141,056千円、仕入債務の増加138,276千円等の増加要因がある一方、旅行前受金の減少552,072千円、旅行前払金の増加409,652千円、法人税等の支払103,442千円等の減少要因から、388,334千円の支出(前年同期は496,190千円の収入)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出102,537千円、敷金の差入による支出57,965千円等により、155,577千円の支出(前年同期は87,786千円の支出)となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出6,126千円、リース債務の支払による支出4,123千円等により、9,677千円の支出(前年同期は9,465千円の支出)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきまして変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,689,155	3,136,690
受取手形及び売掛金	879,000	751,972
割賦売掛金	82,031	65,829
旅行前払金	1,225,114	1,634,725
その他	179,155	305,878
貸倒引当金	△1,166	△1,312
流動資産合計	6,053,290	5,893,783
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	91,031	85,507
車両運搬具(純額)	7,553	7,633
リース資産(純額)	5,041	1,237
その他(純額)	7,651	9,154
有形固定資産合計	111,278	103,533
無形固定資産	243,441	316,927
投資その他の資産		
長期貸付金	4,876	4,876
繰延税金資産	57,620	60,089
差入保証金	192,990	202,538
その他	245,034	284,450
貸倒引当金	△4,876	△4,876
投資その他の資産合計	495,645	547,078
固定資産合計	850,364	967,539
資産合計	6,903,655	6,861,322

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	775,179	911,620
短期借入金	6,512	—
リース債務	5,503	1,380
未払法人税等	120,215	179,746
旅行前受金	4,141,466	3,589,346
賞与引当金	122,273	122,125
その他	255,304	236,816
流動負債合計	5,426,455	5,041,036
固定負債		
資産除去債務	32,352	32,451
その他	37,462	37,037
固定負債合計	69,815	69,488
負債合計	5,496,271	5,110,525
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,942	461,948
資本剰余金	336,942	371,948
利益剰余金	619,787	890,191
自己株式	△83	△83
株主資本合計	1,383,589	1,724,005
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	172	△44
為替換算調整勘定	17,299	14,654
その他の包括利益累計額合計	17,472	14,610
非支配株主持分	6,323	12,181
純資産合計	1,407,384	1,750,797
負債純資産合計	6,903,655	6,861,322

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	14,535,821	18,443,192
売上原価	12,689,561	15,882,311
売上総利益	1,846,259	2,560,880
販売費及び一般管理費	1,658,031	2,125,289
営業利益	188,228	435,591
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	0	0
為替差益	4,621	5,628
その他	647	2,038
営業外収益合計	5,302	7,698
営業外費用		
支払利息	959	34
支払保証料	953	1,536
支払手数料	2,262	2,900
その他	294	327
営業外費用合計	4,469	4,798
経常利益	189,061	438,491
税金等調整前四半期純利益	189,061	438,491
法人税、住民税及び事業税	71,277	164,582
法人税等調整額	495	△2,494
法人税等合計	71,773	162,087
四半期純利益	117,288	276,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	6,000
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,288	270,404

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	117,288	276,404
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	690	△217
為替換算調整勘定	4,666	△2,786
その他の包括利益合計	5,356	△3,003
四半期包括利益	122,644	273,400
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,644	267,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,858

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	189,061	438,491
減価償却費	25,777	43,105
受取利息及び受取配当金	△33	△32
支払利息及び支払保証料	1,913	1,570
為替差損益(△は益)	△963	467
売上債権の増減額(△は増加)	△285,661	141,056
旅行前払金の増減額(△は増加)	△475,977	△409,652
仕入債務の増減額(△は減少)	269,184	138,276
旅行前受金の増減額(△は減少)	860,068	△552,072
貸倒引当金の増減額(△は減少)	432	145
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,343	△153
その他	△49,367	△84,155
小計	522,089	△282,952
利息及び配当金の受取額	33	32
利息及び保証料の支払額	△3,976	△1,971
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△21,956	△103,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,190	△388,334
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△58,473	△102,537
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,508	—
敷金の差入による支出	△21,766	△57,965
差入保証金の差入による支出	△5,739	△10,001
その他	△3,315	14,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87,786	△155,577
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△6,126
リース債務の支払による支出	△10,279	△4,123
ストックオプションの行使による収入	702	572
その他	112	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,465	△9,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,059	△1,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	401,997	△555,465
現金及び現金同等物の期首残高	2,117,873	3,638,155
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,519,870	3,082,690

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行いました。また、2019年6月28日及び2019年7月17日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役、監査役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株発行を行いました。これらの結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ35,006千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が461,948千円、資本準備金が371,948千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。